（院内掲示資料）

2024 年 10 月 31 日

臨床研究：「日本人の肥満症の発症と治療効果・抵抗性に関連する遺伝素因の探索 －オーダーメイド医療の確立－」にご参加いただいた患者様へ ～ 研究協力のお願い

国立病院機構では、お一人お一人に最高の診断・治療を提供できるよう日々努力し、新しい診断や治療法の開発のための医学研究を行っています。すべての研究は、患者さんのご協力のもとに成り立っています。患者さんからご提供いただく血液・尿検査結果などとそれに付随する診療情報、予後情報は大変貴重なものであり、下記の研究に使わせていただくことについて同意をお願いしております。

●研究名：
糖尿病疾患パスウェイを考慮したポリジェニックリスクスコアによる糖尿病臨床的サブタイプ予測

●本研究の概要：
糖尿病は一般的な病気ではありますが、治療最適化には至っていません。そのため糖尿病を病態に応じて細分化して治療最適化に繋げる試みが活発になされています。特に、現在遺伝子情報に着目した研究が世界で進められており、ポリジェニックリスクスコア (polygenic risk score; PRS) という手法を用いて遺伝的にどのサブタイプに対するリスクが高いか特定し、ライフステージを通してサブタイプに応じた予防的介入の実現を目指しています。
本研究の成果により、我が国の今後の医療と福祉に大きく貢献できると考えられますので、ご協力頂けましたら幸いです。

●本研究の対象者： 2017 年 4 月～2020 年 3 月の間に、国立病院機構共同臨床研究：「日本人の肥満症の発症と治療効果・抵抗性に関連する遺伝素因の探索 －オーダーメイド医療の確立－」に参加された患者様

●研究の対象となるもの：上記臨床研究にて取得した資料情報およびゲノムデータ

●データの提供先：東北大学東北メディカル・メガバンク機構、福島県立医科大学

●研究期間：2026 年 3 月 31 日

●本研究で利用されるデータはコンピュータにて厳重に管理されています。集計・解析を行う際には、氏名・住所などの個人情報は削除し、誰のデータかわからないようにするなど個人情報の安全管理と保護には万全を期しています。また、ゲノムデータの取り扱いについても倫理委員会審査承認のもと厳重に保管・管理がなされます。また、上記、研究の目的以外にデータは使用しません。

●本研究に対しデータの 2 次利用をされたくない方、本研究の実施方法や内容について詳しくお知りになりたい方は、お手数ですが、下記の担当者まで御連絡ください。なお、ご協力が頂けない場合でも、当院での診療に関して不利益をこうむることは一切ありませんので、ご安心下さい。

[国立病院機構 ######## 担当責任者]
氏名：### ####（### ###）
所属：####################
E-mail：#####@##############; TEL：###-###-#####